

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	6	地域生活に活力を生む社会基盤を着実に整備します
計画項目(施策)	17	まちの活性化を図る公共交通の充実
＜施策分野＞		＜公共交通＞

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	木村 嘉充

1. 総合計画で掲げている目的など **PLAN**

施策の目的	便利な公共交通により、さまざまな日常生活における移動支援を行い、スムーズな通院、通学、買い物、観光等の目的が達成できるよう充実します。
施策方針(めざす姿)	運行事業者と連携し、上限200円バス、高齢者片道200円レールのさらなる利用促進に取り組むとともに、観光誘客につながる魅力的な移動手段(空間)の実現や利便性の向上を図ります。また、公共交通空白地の解消に努めます。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第3次京丹後市交通安全計画	安全で円滑かつ快適な交通社会を実現するため、府、市、京丹後警察署、関係機関・団体と連携し、交通の現状や地域の実情等を踏まえ、交通の安全に関する施策に対し、陸上・海上交通の安全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱として定めるもの	平成23年12月	平成23年度～平成27年度	平成28年度改定予定
第2次京丹後市観光振興計画	第1次計画の検証と見直しを行うことにより、これらの諸課題について対応し、観光立市の実現を目指すべく第2次計画を策定。市、観光関係団体、観光事業者、市民などが観光立市の実現という共通の目標に向かって、それぞれの立場で取り組むものとして位置づけ。	平成25年6月	平成25年度～平成29年度	
京丹後都市計画区域マスタープラン	市における人口・産業の現状及び将来の見通し等を勘案して、長期的視点に立った都市の将来像を明確にするとともに、その実現に向けての大きな道筋を明らかにし、都市計画の基本的な方向性を示すもの	平成27年3月	計画期間の定めなし	概ね20年後の都市の姿を展望し、10年以内に整備するものを示す

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧 **DO**

CHECK

行政の主な取り組み ↓	予算額(単位:千円)		事務事業の概要				評価結果	
	H26決算額	H27予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	施策貢献度	今後の方向性
事務事業名称・事業内容(実績)	担当課							
① 公共交通の充実								
○ 広域的な公共交通計画を策定し、利用者ニーズに即した地域交通体系の整備を進めます。 ○ 上限200円バスの利用を促進するとともに、観光客の利用拡大を図ります。 ○ 公共交通空白地の解消に向け、環境に配慮したデマンド電気タクシー等の普及推進を図ります。 ○ ICTを活用した利便性の高い公共交通のネットワーク化を図ります。								
1 地方バス路線運行維持対策事業	企画政策課	107,894	128,969(35,794)	府規定	府・一部含む	サービス	S	現状維持
バス路線運行維持のため、運行事業者に対し財政支援(補助金交付)								
2 市営バス運行事業	企画政策課	16,524	14,182(8,679)	国規定	府・一部含む	サービス	S	現状維持
生活交通路線市営バスの運行(4路線、乗車人員5,947人)								
3 交通確保対策一般経費	企画政策課	2,226	5,690(5,690)	なし	単費	○	サービス	A
KTR運行時刻早見表の作成(21,000部)、運転免許証自主返納者に対する支援等								
4 EVタクシー運行支援事業【明許繰越】	企画政策課	-	20,160(17,847)	新規事業(平成26年度事業の全部を繰り越して実施する事業)				
EV乗合タクシー運行経費や車両購入、充電設備整備に対して支援(補助金交付)								
5 駅AED設置事業【再編交付金活用事業】	企画政策課	-	2,100(200)	新規事業				
市内の有人6駅へのAED(自動体外式除細動器)の設置								
通勤での公共交通利用推奨や、公務出張においてKTR利用を原則とすることで、公共交通の利用促進を図っている(各一般経費に含まれるため、調書には非計上)。								
② 鉄道の利用促進								
○ 車両、鉄軌道等の老朽化対策等、安全輸送確保の基盤整備を支援します。 ○ 駅舎を活かし、人が集まる多機能施設への転換を図るなど、駅の機能強化を進めるとともに、駅の愛称PRと沿線の魅力発信を行います。								
6 北近畿タンゴ鉄道利用促進対策事業	企画政策課	170,014	176,961(86,261)	市規定	単費	○	維持管理	A
北近畿タンゴ鉄道(株)への財政支援及び利用促進事業の実施								
7 駅舎等施設管理事業	企画政策課	42,612	48,037(16,175)	市規定	単費	○	維持管理	A
市内7駅の維持管理・乗車券類等の販売(市内各駅利用状況:378,088人)								
8 駅舎等施設管理事業【明許繰越】	企画政策課	-	8,384(684)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業				
駅トイレ改修実施設計経費								
9 京丹後鉄道利用促進対策事業【明許繰越】	企画政策課	-	1,734(1,734)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業				
駅案内看板更新等経費								
10 京丹後鉄道再生支援事業補助金【地方創生先行型交付金事業】【明許繰越】	企画政策課	-	11,906(6)	平成26年度事業の全部を繰り越して実施する事業				
DIS車両のリニューアルに対する費用を府県及び沿線自治体が支援								
花いっぱい運動により、市民協働による駅舎美化を行っている(予算を伴わない事業のため、調書には非計上)。								

③ ローカル鉄道とローカルバスの全世界への魅力発信 ○ KTR観光型列車「あおまつ号」「あかまつ号」「くろまつ号」、上限200円バスの魅力を国内外に積極的に発信し、集客の拡大を図ります。										
平成26年5月に運行を開始した「丹後くろまつ号」等、新聞、雑誌、Webサイト等による地域の公共交通を利用した旅の紹介事例が増えた。										
④ 将来を見据えた高速鉄道の整備実現 ○ 平成25年6月に設立した「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の組織拡大と調査研究、国等への要望を行います。										
「山陰縦貫・超高速鉄道」の整備コストや利用者便益等について、各自自治体からの負担金を原資に調査研究を実施し、その結果を広く一般に発表するとともに、その内容を踏まえ、国土交通大臣へ整備実現に向けて要望書の手交を予定。										
計		339,270	418,123	(173,070)						

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① マナーを守り積極的に公共交通を利用します。
	② マイレール意識をもち、市民一人一人が「ワンモア運動」を展開します。 ※ ワンモア運動：鉄道を愛用する、あるいは鉄道に関わる（駅ホームの植栽を行うなど）運動のこと。

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	運行事業者と連携し、上限200円バス、高齢者片道200円レールのさらなる利用促進に取り組むとともに、観光誘客につながる魅力的な移動手段(空間)の実現や利便性の向上を図ります。また、公共交通空白地の解消に努めます。							
めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度
	公共交通空白地の解消	人	5,000	H26	3,700	H26	100	H36
	デマンド電気タクシーの導入数	台	0	H26	0	H26	6	H36
	電気自動車専用充電施設の設置数	箇所	3	H26	7	H26	15	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価 **CHECK**

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 上限200円バスの取組により、バス路線の運行を維持・確保するとともに、高齢者片道上限200円レールの取組により、高齢者の外出促進と鉄道の利用促進を図ることができた。 ○ 平成26年7月から新規に市営バスの2路線(豊栄竹野線と宇川線)について、デマンドバス方式で実証運行を開始し、市内の公共交通空白地の解消を図ることができた。 ○ 平成27年3月の鉄道のダイヤ改正により、これまでから要望を続けてきた京都方面からの特急列車について、午前9時台の京丹後市への到着が実現した。 ○ 北近畿タンゴ鉄道について、事業者と沿線9自治体の連名で提出していた「鉄道事業再構築実施計画」が平成27年3月に国から認定を受け、京都丹後鉄道として開業した(H27.4.1~)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 路線バスについて、利用者数が頭打ちの状況もみられるため、更に多くの方に利用してもらえるよう利便性の向上を図る必要がある。あわせて、公共交通空白地の解消に努めていく必要がある。 ○ 鉄道について、定期利用者は横ばい・微減傾向、定期外利用者は減少傾向にあるため、更なる利用促進に努めていく必要がある。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか] **CHECK**

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道について、高齢者片道上限200円レールの取組により、高齢者の外出促進と鉄道の利用促進を図るとともに、京都丹後鉄道が当初の予定通り平成27年4月1日に開業した。 ○ 上限200円バスの取組により、バス路線の運行を維持・確保するとともに、市営バスの2路線について、デマンドバス方式で運行を開始し、公共交通空白地の解消を図った。また、デマンド電気タクシー(EV乗合タクシー)の運行実現に向けた取組を進めることができた。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28~30年度までの3か年の主な取組) **ACT**

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	高齢者片道上限200円レールや上限200円バスなどの利用促進の取組を継続するとともに、鉄道駅舎の利便性の向上を図り、バスや京都丹後鉄道路線の運行を維持する。	
	2	EV乗合タクシーの運行など、公共交通空白地解消に向けた取組を展開する	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	01バス運行対策事業	
細事業名	01 地方バス路線運行維持対策事業			決算書	P.106
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
107,894千円		107,921千円		27千円	99.9%
					(参考)当初予算額 91,753千円

目的 国及び府と協調して生活交通路線バスの運行を支援し、生活交通としての地域のバス交通を維持・確保する。

主要な事務・事業及び成果の概要

○市町村運行確保生活路線バス路線維持費補助金 16,349千円
自主運行路線「弥栄網野砂丘線（弥栄分校前～久美浜温泉湯元館）」に対する補助

○地方バス路線運行維持対策補助金 91,452千円
丹後海陸交通㈱の各バス路線に対する補助 (単位：便/日、千円)

系統名	起点	経由地	終点	便数	補助金額
経ヶ岬線	上宮津	与謝の海病院	宇川温泉よし野の里	8	2,537
峰山線	野田川丹海前	大宮駅前	峰山駅前	12	9,780
間人線	峰山	溝谷	間人	20	18,052
海岸線	峰山駅前	網野・間人	経ヶ岬	16	22,923
海岸線5	網野高校前	三津	間人	1	250
間人循環線	峰山	溝谷・間人	峰山駅前	8	9,623
病院線	峰山	河辺・上常吉	与謝の海病院	11	8,732
延利線	峰山	大宮庁舎前	小町公園	9	10,221
久美浜線	峰山中学校前	野中・友重	久美浜駅	12	9,334
合 計				97	91,452

○海の京都周遊バス利便向上事業費 93千円
丹後海陸交通㈱が7月から11月まで運行した「ぐるっと丹後周遊バス」の車両ラッピング(2台)にかかる費用の一部を補助

主な財源

府補	市町村運行確保生活路線維持費補助金(1/2)	8,174千円
繰入金	地域振興基金繰入金	70,000千円

評価・課題等

○地域住民の生活の足及び本市への観光客等の移動手段として、既存の路線バスの運行を維持・確保することができた。
○平成25年10月から、丹後地域2市2町で上限200円運賃制度が導入されているが、引き続き運行事業者及び周辺自治体とも連携し、積極的に利用促進を図る必要がある。

事業所管課 企画総務部/企画政策課

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	01バス運行対策事業	
細事業名	02 市営バス運行事業			決算書	P.106
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
16,524千円		16,974千円		450千円	97.3%
					(参考)当初予算額 17,036千円

目的 民間バス会社と競合しない地域において、生活の足として必要な路線バスを運行し、地域の生活交通を維持・確保する。

主要な事務・事業及び成果の概要

○運行管理委託料 9,579千円
(単位：人、便/日、千円)

系統名	起点	経由地	終点	乗車人数	便数	委託金額
弥栄延利線	溝谷	延利・須川	溝谷	3,188	4	4,719
佐濃北線	佐野丙	久美浜病院	久美浜駅	2,594	7	3,289
豊栄竹野線	三宅橋	間人診療所	間人	50	デマンド	1,571
宇川線	鞍内	宇川温泉よし野の里	上山	115	デマンド	

○豊栄竹野線・宇川線運行開始(H26年7月)に係る費用 3,908千円
車両購入費、バス停標柱製作費等

○運行管理経費(燃料費、修繕料、バス停管理費等) 3,037千円
【参考】市営バス乗車人数推移 (単位：人)

期 間	弥栄延利線	佐濃北線	豊栄竹野線	宇川線	合計
H18年10月～H19年9月	1,762	2,689	/	/	4,451
H19年10月～H20年9月	1,631	3,217			4,848
H20年10月～H21年9月	2,099	3,596			5,695
H21年10月～H22年9月	2,713	3,506			6,219
H22年10月～H23年9月	3,162	3,761			6,923
H23年10月～H24年9月	3,095	3,403			6,498
H24年10月～H25年9月	2,948	3,060			6,008
H25年10月～H26年9月	3,188	2,594			50

主な財源

府補	市町村運行確保生活路線維持費補助金(1/2)	3,618千円
繰入金	地域振興基金繰入金	3,000千円
諸収入	市営バス回数券収入	263千円
諸収入	市営バス運行収入	663千円
市債	市営バス整備事業債(過疎対策債)	3,100千円

評価・課題等

○新たに丹後町域での運行を開始したことで、公共交通空白地を減少させるとともに、民間の公共交通機関の維持確保が困難な地域における住民の移動手段を確保することができた。
○さらに、運行の持続性を確保するための利用促進策や公共交通空白地の更なる解消に向けた移動手段確保の在り方などを検討する必要がある。

事業所管課 企画総務部/企画政策課

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	50交通確保対策一般経費	
細事業名	01 交通確保対策一般経費			決算書	P.110
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
2,226千円		2,384千円		158千円	93.3%
				(参考) 当初予算額 2,293千円	

目的	公共交通確保対策業務に関する事務経費等					
主要な 事業 及び 成果 の 概要	公共交通利用促進策として、鉄道ダイヤの春の時刻表改正に伴い、分かりやすい運行情報を掲載したKTR（京都丹後鉄道）運行ダイヤの早見表を作成した。 市内の高齢者の交通事故防止と公共交通利用促進を図るため、運転免許証返納者に、鉄道又はバスチケット（6か月分の定期券等）を交付した。					
	○KTR（京都丹後鉄道）時刻表（壁掛け用）	195千円				
	21,000部、A2版、2色カラー <平成27年3月10日発行>					
	○市営バス回数券及び市営バス日常点検記録簿作成費	73千円				
	○高齢者運転免許証自主返納支援	1,651千円				
	運転免許証を自主返納した65歳以上の方及び障害者の方への特典として、鉄道・バスチケット（6か月分）を88人に交付（対前年4人増）					
	①特典別	内訳（人）	②町域別	内訳（人）	③年齢別	内訳（人）
	鉄 道	8	峰 山	22	65歳～69歳	9
	丹海バス	63	大 宮	10	70歳～74歳	15
	市営バス	17	網 野	17	75歳～79歳	10
合 計	88	丹 後	9	80歳～84歳	24	
		弥 栄	12	85歳～89歳	19	
		久美浜	18	90歳～94歳	7	
		合 計	88	95歳 以上	3	
		障 害 者	1	合 計	88	
		合 計	88			
○職員旅費	257千円					
○山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金	50千円					
・調査研究事業（新幹線及びリニア整備に係るコストと便益の試算）等の実施						
・会議参画市町村：48自治体						
主な財源						
評価・課題等	○分かりやすい時刻表を提供することにより、公共交通の利用促進を図った。 ○高齢者による交通事故の発生を抑制するとともに、公共交通の利用促進を図るため、高齢者の運転免許証の自主返納を支援し、昨年度以上に返納していただくことができた。					
事業所管課	企画総務部／企画政策課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	02北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業	
細事業名	01 北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業			決算書	P.108
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
170,014千円		171,983千円		1,969千円	98.8%
				(参考) 当初予算額 189,005千円	

目的	府県及び沿線自治体が一体となり、北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道の安全・快適な運行の確保に対して支援を行うとともに、高齢者片道上限200円レール等により利用促進を図る。				
主要な 事業 及び 成果 の 概要	○愛称募集記念品（7人）	70千円			
	○ホーム歓迎看板製作・設置（7駅、京丹後七姫等のイラスト看板）	595千円			
	○駅名看板製作・設置（7駅、けやきによる彫刻看板）	2,261千円			
	○北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道安全運行維持補助金	103,864千円			
	経営支援のための府県・沿線市町による補助金 （※平成26年度拠出金合計額〔他市町・府県拠出金の合計額〕759,460千円）				
	○北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道再生支援事業補助金	29,316千円			
	普通車両リニューアル整備等に対する支援				
	○高齢者片道上限200円レール事業	13,810千円			
	平成26年4月1日～平成27年3月31日までの毎日実施（盆休み及び年末年始除く） 65歳以上の市民が対象で、市内各駅からKTRのどの駅まで乗っても片道上限200円				
		年度	乗車実績	備 考	
	平成23年度	2,784 人	土日祝で社会実験（延 54日間）		
	平成24年度	8,754 人	平日拡大し本運行（延171日間）		
	平成25年度	18,457 人	通年運行で、宮津市、伊根町、与謝野町にも拡大		
	平成26年度	20,484 人	（参考）宮津市、伊根町、与謝野町は計24,111人		
○北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道利用促進協議会負担金	150千円				
○鉄道軌道輸送対策事業費補助金	19,948千円				
鉄道事業の保安度の向上のため、必要な線路設備、信号設備等に要する経費を補助					
	参考	線越明許費を除いた最終予算額	170,249千円		
		実質的な執行率	99.8%		
	■平成27年度への線越事業	1,734千円			
	・駅案内看板等更新事業	平成27年5月完成	1,734千円		
主な財源	府補	未来づくり交付金（公共交通利用促進事業）	4,000千円		
	諸収入	地域公共交通確保維持改善事業補助金	1,496千円		
	諸収入	ビヅ 祝特急回数券販売手数料	122千円		
	市債	北近畿ﾀﾝｺﾞ 鉄道利用促進対策事業債（合併特例債）	40,800千円		
評価・課題等	○北近畿ﾀﾝｺﾞ鉄道(株)に対して財政面での経営支援を実施することにより、同鉄道の運行を維持することができた。さらに、高齢者片道上限200円レールを実施することにより、高齢者の外出を促進するとともに、鉄道の利用促進を図ることができた。 ○車社会の進展や少子高齢化、さらには開業以来約90年が経過する中で施設等が老朽化するなど、同鉄道を取り巻く経営環境は大変厳しいが、地域住民の足、観光客の足として存続させていくため、継続した支援が必要である。				
事業所管課	企画総務部／企画政策課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	12交通確保対策費	02北近畿外下 鉄道利用促進対策事業	
細事業名	02 駅舎等施設管理事業			決算書 P.108	
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市	計画項目	⑤ 地域交通の確保		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	
42,612千円		51,453千円		8,841千円	
				執行率 82.8%	
				(参考) 当初予算額 48,648千円	
目的	市内7駅の維持管理を行うとともに、有人駅において定期券や企画きっぷ、JR線連絡切符等の販売を行うことにより、鉄道利用者の利便性向上及び鉄道利用促進を図る。				
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	○市内7駅維持管理経費				
	・燃料費、光熱水費	5,797千円			
	・修繕料（トイレ、インターホン、エアコン、時計等）	332千円			
	・通信運搬費	344千円			
	・委託料（KTR乗車券類販売業務委託料）	28,564千円			
	・委託料（清掃、ごみ収集運搬、機械警備、各種設備管理）	5,239千円			
	・土地借上料（駐輪場、駐車場、駅舎通路）	1,216千円			
	・臨時職員賃金（1人、週2回勤務）	680千円			
	・その他（消耗品費、ごみ持込み手数料、火災保険料等）	440千円			
	○市内各駅乗降車人員 (単位：人)				
駅名	H22	H23	H24	H25	H26
※丹後大宮	54,350	46,777	55,619	51,859	45,230
峰山	105,110	112,807	114,166	109,489	104,700
網野	105,138	94,005	97,633	98,791	88,587
※木津温泉	55,656	54,640	51,095	42,656	46,338
※丹後神野	16,981	22,598	20,244	24,207	22,510
※甲山	47,957	35,818	37,532	38,954	33,815
久美浜	39,324	39,903	43,506	41,694	36,908
合計	424,516	406,548	419,795	407,650	378,088
※H27.4～京丹後大宮、夕日ヶ浦木津温泉、小天橋、かぶと山に駅名を改称					
■平成27年度への繰越事業				8,384千円	
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		43,069千円		
	実質的な執行率		98.9%		
・駅舎トイレ改修実施設計業務 平成27年6月完成				8,384千円	
主な 財源	使用料	公有財産使用料、各駅施設使用料	1,266千円		
	繰入金	地域振興基金繰入金	20,000千円		
	諸収入	峰山駅ほか駅舎維持管理費負担金	930千円		
	諸収入	峰山駅ほか乗車券類販売手数料	6,471千円		
	諸収入	丹後神野駅JICA-使用料、公衆電話料	18千円		
評価 ・ 課題 等	○駅舎の適正な維持管理及び有人駅での定期券や企画きっぷ、JR線連絡切符等の窓口販売を行い、鉄道利用者の利便性を確保することができた。				
	○観光案内や情報発信機能の強化、駅舎のバリアフリー化やトイレ整備等、駅の利便性・快適性をさらに向上させていく必要がある。				
事業所管課	企画総務部／企画政策課				